

リチウムイオン電池のリユース・リサイクルの 現状と課題、今後の展望

1名分料金で
2人目無料

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2504115>

- ◆日時: 2025年04月07日(月) 10:30~12:00
- ◆【アーカイブ配信受講: 4/8(火)~4/15(火)】を希望される方は、
⇒こちら <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2504115A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料: 1名につき38,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で38,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**35,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計38,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: ニッケル協会 東京事務所 所長 竹田 賢二 氏

【受講対象・レベル】

・EV向けリチウムイオン電池の普及とその資源、リサイクル等に興味のある技術者

【予備知識】

・リチウムイオン電池にどのような素材が必要か、ある程度知識を持たれていると理解しやすくなります。

【習得できる知識】

・EVの普及に伴う電池の製造について、代表的な資源がどれくらい必要となるか、また、現在そのリサイクルとしてどのような事が考えられているか、その根拠と考え方の概要を得られます。

【講演の趣旨】

EV用としての性能を得たリチウムイオン電池は二次電池として急速な普及を見せており、カーボンニュートラルへ向けた世界の動向から、旺盛な需要にさらされている。このため、必要なメタル資源、特にニッケルやコバルト電池需要の変動に翻弄されつつある。本報告では、EVの普及による旺盛な需要の背景と、それらを満たすために必要なメタルとのバランスや、電池のリユース・リサイクルの必要性など、リチウムイオン電池を取り巻く概要を説明する。

【プログラム】

- 二次電池＝リチウムイオン電池の普及と広がり
 - 使用されているリチウムイオン電池量
 - 二次電池の種類と主な用途
- EVの展望と必要なメタル量
 - リチウムイオン電池に必要なメタル
 - 将来必要なメタル量と生産量の比較
- 主なEVメーカーの動き
 - TESLA Battery Day
 - Volkswagen Power Day
 - 日本メーカーの動き
- 電力システムの電池の展望
 - 電力系への電池の使用例
- リユース・リサイクルと二次電池の将来
 - リチウムイオン電池のリユース
 - リチウムイオン電池のリサイクル
 - リサイクル事業者の取り組み事例
 - 二次電池の将来

『リチウムイオンリサイクル』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ LIVE受講 アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>